

まちのわだい

Town Topics

旅立ちの春

市内各小・中学校で卒業式

市内各中学校で3月10日、卒業式が行われ、452人の生徒が新たな道へと旅立ちました。下妻中学校では、保護者や在校生が見守る中、お別れの言葉で3年間の思い出がスクリーンに映し出されると、会場からすすり泣く声が聞こえてきました。いつも一緒だった同級生や先生とも離れ、新たな人生の幕開けを迎えた卒業生は、未来をしっかりと見定め、学び舎に別れを告げました。また、3月22日には市内各小学校で卒業式が行われ、433人の児童が次のステージへと歩みを進めました。



一人一人に卒業証書が手渡されました(下妻中学校)



学び舎に別れを告げる卒業生全員の合唱(下妻小学校)



消防署員の指導で消火器を体験する参加者

平成7年1月の阪神・淡路大震災、平成23年3月の東日本大震災を受け、南海トラフ巨大地震でも大きな被害が想定されることから、いざという時に地域で備えようと大町町内会で防災訓練が行われました。大町コミュニティセンターの駐車場には、地域の子供から高齢者まで約70人が集まり、消火器の使い方などを訓練したほか、下妻消防署が設置した「煙体験ハウス」で煙の中で動く大変さなど経験しました。

「初めて消火器を使った。重かったけど、使えるようになってよかった」と子ども会で参加した小学3年の男子。寺尾法誉・町内会長からは「今後、首都直下地震等のさまざまな災害に対する備えが万全となるよう東京都が作成した防災ブックの『東京防災』を全286戸に配布していきたい」と話が聞けました。

大町町内会防火訓練 2月28日

いざというときに地域で備える

桜の季節へ砂沼を清掃

砂沼をきれいにする運動 3月13日

下妻のシンボルである砂沼をきれいに保とうと「砂沼をきれいにする運動」が、砂沼周辺で行われました。市内の各種団体や砂沼周辺の自治会などから527人が参加。遊歩道や護岸から拾い集められたごみは、可燃ごみ530キロ、不燃ごみ220キロにもなりました。毎年参加するという70代の男性は「よく見ると意外とごみは落ちているもの。桜が咲く前にきれいにできてよかった」と、ごみでいっぱいになった袋を両手に下げていました。茨城百景にも選定されている砂沼は、これから桜やハナショウブ、アジサイなどが彩りをみせ、県内外から多くの観光客が訪れます。



遊歩道や護岸のごみを拾い集める参加者

ポピー咲かせたい 水害からの復興

鬼怒フラワーライン草取り交流会 3月13日

花と万人の会(花万)主催による草取り交流会が、鬼怒川大形橋上流左岸河川敷の花畑「鬼怒フラワーライン」で開催されました。青龍学校少年団や保護者、地元関係者など約80人が参加し、花の種から芽を出したのか、雑草なのかを見分けながら鎌や手作業で丁寧に作業しました。同花畑は、平成27年関東・東北豪雨の影響で冠水被害に遭い、花万メンバーが総出で復旧作業に取り組みました。重機で畑をならし、雑草対策のマルチシートを貼りました。花万の飯島会長は「花とふれあいまつりの25周年という節目を迎える時期の水害だったが、伝統を絶やさないように花だけでも咲かせたいという思いで復旧作業に取り組んできた。今年のまつりでも例年どおりのポピーが見られると思う」と笑顔を見せていました。第25回花とふれあいまつりは5月15日(日)午前10時から、第20回鬼怒川流域交流Eポート大会と同日開催されます。



花万メンバーのほか地元住民、小学生も参加しました

まちのきれいな景観を取り戻す

落書き消しボランティア 3月26日

小貝川に係る祝橋の橋脚で、落書きを消す活動がありました。市内で塗装業、建設業、造園業などを営む30~40代の若手経営者など10人が、まちのきれいな景観を取り戻そうと「下妻をきれいにし隊」を平成28年3月に結成。手始めの活動となった落書き消しでは白いペンキで手際よく、さまざまな落書きを消していきました。約3時間の作業に汗を流した森隆幸隊長は「地域で困ったことがあれば、落書き消しだけでなく、道路沿いの除草などもまちがきれいになるようになっていきたい。この美化活動が広がるよう仲間も募集しています」と今後の意気込みを語りました。



手際よく落書きを消していく隊員たち



野菜切りで子どもをやさしくサポートするお父さん

パパと簡単お菓子づくりチャレンジに挑戦

パパとクッキング 3月5日

親子のふれあいを深め、男性の家事・育児への参加を目的にお父さんとお子さんによる料理教室が千代川公民館の調理室で開催され、市内の親子8組18人が料理を楽しみました。調理は、3月14日のホワイトデーにちなんで、家族に日ごろの感謝の気持ちを込めてプレゼントとして持ち帰ることができる簡単なお菓子をつくらうと「キャロットケーキ」「季節のゼリー」に挑戦。市内で料理教室を開いている講師のもと、料理の豆知識などを学びながら親子で楽しく調理しました。キャロットケーキで使う人参のみじん切りでは「私がやる」と張り切る子どもたち。途中で力が入らなくなると、後ろから包丁に手を添えて、親子一緒に作業するお父さん。「パパ、かっこいい」と子どもの一言に、やさしく微笑み返す父親の顔がありました。調理を終えた40代の父親からは「『ママはいつも大変なんだね』と子どもに言われ、パパも頑張らなきゃと感じた」と家事・育児へ積極的に参加していく意気込みが聞けました。

スポーツ & カルチャー

がんばる小・中学生!!

小学生

- 第12回全国小学生学年別柔道大会茨城県予選会
優勝 小学5年女子40kg超級
青田れもん(下妻優心塾) 【全国大会出場】
- 第28回県西地区ミニバスケットボール新人大会
優勝 女子の部
下妻ミニバスケットボールスポーツ少年団
- 第29回古河市ミニバスケットボール交流大会
ウィンターカップ
優勝 下妻ミニバスケットボールスポーツ少年団
- 第33回豊岡フレッシュカップ
優勝 下妻ミニバスケットボールスポーツ少年団